

AMJ モスクワ駐在員事務所の紹介

～ウラジミール氏奮戦記～

AMJ モスクワ支店は、開設してちょうど3年半が経って今年ウラジミール氏が入社した。ロシア経済の成長は止まるところを知らず原油や非鉄、貴金属の国際市況が高騰する中で石油資源や非鉄金属資源を豊富に有するロシアは資源を政治カードに使い始めた。民営化を進めてきた主要工場は国有企業になり一見歴史が逆流し始めたのではないかとさえ感じられる。

AMJ の関連市場ではチタンを初め、レアメタルの動向が非常に激しい。そんな中、AMJ モスクワ支店のラハマン氏は中央アジアやウクライナを中心に活動を始めた為モスクワ店を守る人材が必要になったのだ。新しくモスクワ店に入社したウラジミール・マツコフスキー氏を中心に、モスクワ支店の紹介をしたいと思う。

「ウラジミール氏はAMJ ではマッチャンと呼ばれている」

ウラジミール氏はアネクドートの天才だ。ロシアの文化には明るさと暗さが同居している。「アネクドート」は他愛も無い笑い話ではあるが実はアイロニーとマゾヒズムが同居した不思議な世界なのである。

ただし日本語に訳すと面白くもなんとも無い。よくパーティーの席で我が先にと争うようにアネクドートが次から次に披露されるが、正直言って10分も経てば難しすぎて辟易とする。しかし、周りのロシア人は抱腹絶倒で笑い転げているので日本人の我々も適当に合わせて笑っているが実は大変に苦しいひと時ではある。特にウラジミール氏（マッチャンと呼ぶ）のアネクドートはブラックユーモアが芸風なので一切笑わずに最後の落ちをかます時の様子は何とも言

えない物がある。

彼はユダヤ系ロシア人であるから、ユーモアのセンスは複雑系である。

(格好をつけた時のウラジミール氏)





(エストニアの別荘の前で)

例えばアネクドートの例を披露すると：

One Russian man bought a Japanese car with right steering wheel.

Everything is ok, but when he spits at the window, he now always hits to the face of his wife.

この笑いの間が何とも言えない。だからと言って、女性を馬鹿にするといったことは一切無い。

Exam for American citizenship:

- Born?
- Yes, sir.
- I ask where have you been born?
- In Russia.
- Which part?
- All my parts were born there.
- Why did you leave Russia?
- I could not take it with me.
- You business?
- So-so.
- Where is Washington?
- He died already.
- Will you support the Constitution of USA?
- Why me? I have a wife and four children. Can somebody else do it?
- Ok. You answered all the questions successfully.

大体が「考え落ち」であるのとロシアの文化が理解できていないので何のことか解らないのだ。この文化が理解できないとロシアとのビジネスは成功しないのである。

「エストニアのタリンでエストニア人の別荘に行った」

エストニアの人々も不可解なところがある。エストニアはバルト三国の北に位置している。フィンランド人と同様アジア系のフィン族の血が混ざっているので、変にセンチな所もあるのだ。昔から地政学的にロシアとドイツに挟まれていた被征服民族であるから当たりは柔らかいが実際には頑固なところもあるようだ。

大体旧ソ連の崩壊はバルト三国から始まっている。仕方なくコメコン諸国に属していたが歴史的にも古いハンザ都市でありヨーロッパの匂いの

ほうが良く似合う国家である。数年前にECに入ったのは自然だ。





(エストニアの友人の別荘でバーベキューを楽しむマッチャンと吉永GL)

「ついでにアネクドートをもう一つ」

マッチャンの話の聞いているとどうやら恐妻家であるらしい。アネクドートには怖い奥さんの話が多いのである。例えば：

妻の尻に敷かれている夫が多くなったと嘆いていた天国の門番が、その実態調査に乗り出した。天国の入り口のうち、既婚男性専用の門を「妻の尻に敷かれた人」用と「妻の尻に敷かれなかった人」用に分けたのだ。すると、嘆かわしいことに、「妻の尻に敷かれた人」用の門の前には長蛇の列ができ、もう一方の門の方にはだれもいなかった。

すると、ひとりの男が「妻の尻に敷かれなかった人」用の門に向かって歩いてきた。「門番は、ようやくひとり来たか」と思い、喜んでその人に話しかけた。「こちらの門に来る人はあなたが初めてですよ」。すると、男は申し訳なさそうに言った。「妻に、こっちの門へ行けと言われたもので・・・。」

マッチャンはバーベキューパーティーでもよく働いてくれる。人付き合いは上手いほうではないが実は人が大好きである。

彼の仕事のモットーは To work with people, not with plants and factories.

彼の趣味は読書であるが最も好きな本は：

プーシキンの“Evgeny Onegin”なのである。

今後は益々楽しみである。

マッチャンはバツイチである。

「僕は最小の投資で最大の結果を出すとっているので、話を聞いてみたら実は前のカミさんとの子供は双子の兄弟で今のカミさんの連れ子が二人いて女の子と男の子であるという。確かに若いのに最小限の努力で最大限の結果を出しているのは事実であった。



(バーベキューパーティーでよく働くウラジーミル氏)

「マイナーメタル会議」

MMT A会議がタリンで行われた。参加者は数10カ国から200名が集まった。世界最大のレアメタル会議で欧州のメタルトレーダーの参加が多く、ロシアからも多くのメーカーやトレーダーが参加した。「レアメタルパニック」になるぐらいに景気が良いので会場は商談に発表に大変熱が入っていた。

欧州のレアメタル市場におけるロシアの存在感は大変大きいものがある。我々日本市場にとって中国からの供給が最大であり隣国ロシアとの貿易量は驚くほど小さいが欧州のメタルとトレーダーにとってのロシアのレアメタル資源はエネルギー資源と同様に重要なのである。今回の会議ではまだまだ続く好景気に全てのレアメタルはまだまだ高騰を続けるとの空気が強かったが一部の専門家によるとチタンをはじめとすすでに相場はピークアウトしているといった意見もあった。



(ENRC と Redmetservis とパーティーで)

日本では中国の市場に目を奪われる事が多いが、欧州筋はロシア市場の動向を大変重要視している。確かにロシアはかつての輸出国から輸入国に変わってきていることは事実でありAMJのモスクワ店もその事を忘れず注目してゆきたい。

(トルコの最大の金属貿易商社社長とウラジミール氏との面談)



MMT A会議の終わった後のパーティーでは例によってアネクドートの洪水であった。いくつかを紹介してモスクワ店の紹介を終わりたい。

① Two electricians are sitting at the high-voltage electricity pylon and arguing about something. An old woman is passing by.

One of them says:

- Lady, please could you give me that one naked cable.

She takes it from the earth and rises her hand to pass it to the electrician.

He does not pay attention to her and says to his colleague:

- So, I was right, this one is not under tension.

② Two old friends who studied together at school meet after many years.

One became a successful and rich businessmen, another became a professor.

The professor asks:

- You had problems with mathematics, so how do you do your business?
- It is very simple. I buy a truck of goods for 5 thousand dollars and sell it for 7 thousand dollars. So these 2 per cent is my profit.

③ One old lady went to the doctor and he recommended her to drink every evening a glass of milk with one drop of vodka. Her grandson prepared the medicine for her every day, but some time he put 3 drops of vodka, another time 10 drops, and one day he put half glass milk, half glass vodka.

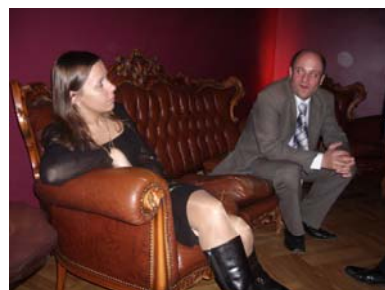
The lady drank it, and after a while called her grandson. She said:

- My boy, whatever happens, please do not sell this cow!

④ 昔は政治犯がたくさん、シベリアに送られていました。ある時、一人の男が強制収容所に送られてきた。囚人の一人が「お前は何年くらったんだ」と聞くと、その男は「20年だ。何も悪い事していないのに、20年の刑が宣告された」と答えた。すると、他の囚人が言った。「そんなことはあるまい。もし無実なら、10年ですんだはずだ」

⑤ 嫁いだ娘が泣きながら母親に言った。「ママ、彼ったら、地獄があることを信じていないのよ。」母は薄笑みを浮かべて、言った。「じゃあ、地獄を見せてあげましょう。」

⑥ ある二人がコンサートへ行ったが、ピアノの演奏が気に入らなかった。「このピアニスト、まことに、キリスト教的慈愛に満ちた演奏をするわね。」「どうして?」「彼の右手は、左手がしていることを知らないのよ。」



(アルコニックスのアンナさんと談笑)